

APRIN eラーニングプログラム(eAPRIN) 教材一覧 及び 推奨コース設定

2018.12.26版

※ 改訂について: 各種ガイドラインや法令等の変更および研究倫理を取り巻く日本の状況変化に合わせて適宜、教材内容を見直しています。

※ コース設定について

(1): 各標準コースの教材は、「JST事業受講者コース」(※1「JST事業受講者コース(1)(生命医科学系)」、※2「JST事業受講者コース(2)(理工系)」、※3:「JST事業受講者コース(3)(人文系)」という名称にてデフォルトで全受講者に共通コースが設定されています。オレンジの単元は必須単元、緑の単元はそのコースに関連する内容の教材を示しています。

(2): APRIN e-learningのGCPコースはTransoerlateのプログラムに認定されています(ICH-GCP E6 R2対応)。

領域	単元	提供開始日もしくは最終改訂日 および提供予定日		APRINが提案するコース設定							
		日本語版	英語版	医学系研究者 標準コース (7単元) ※1	理工系研究者 標準コース (7単元) ※2	人文系研究者 標準コース (5単元) ※3	医学研究者 推奨コース (15単元)	TransCelerate コース (10単元)			
責任ある研究行為	RCR 共通単元	責任ある研究行為ダイジェスト	2016年4月	2015年4月							
		公的研究費の取扱い	2017年9月								
	生命医科学系 (RCR)	責任ある研究行為について	2016年4月	2014年7月							
		研究における不正行為									
		データの扱い	2017年12月	2017年12月							
		共同研究のルール									
		利益相反	2016年4月	2016年4月							
		オーサーシップ									
		盗用			2014年7月	2014年7月					
		社会への情報発信									
		ピア・レビュー	2016年4月	2016年4月							
		メンタリング									
	理工系 (RCR理工系)	研究不正	2015年4月	2016年4月							
		工学研究におけるデータの管理上の倫理問題									
		理工学分野における利益相反			2017年4月	2017年4月					
		責任あるオーサーシップ									
		理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー			2016年4月	2016年4月					
		理工学分野における共同研究									
		研究者の社会的責任と発表									
		環境倫理: 工学研究の環境的側面と社会的側面			2017年4月	2017年4月					
	メンターとアドバイザー										
	技術者向けの倫理 (RCE)	技術倫理 ~技術者の観点から~	2018年12月 利用開始	2019年度 提供予定							
		技術開発におけるリスクマネジメント									
		情報技術に関する倫理									
		技術情報 I・II (仮)			2019年度以降 提供予定						
	人文系 (RCR人文系)	研究活動における不正行為	2016年7月	2018年度以降 提供予定							
		盗用									
		共同研究									
ピア・レビュー											
社会科学・ 行動科学 (SBR)	インターネットを使った社会科学・行動科学研究 社会科学・行動科学研究におけるインフォームド・コンセント	2017年6月	2018年度以降 提供予定								
	社会科学・行動科学研究におけるリスク評価										
人文社会科学研 究の 質的向上のために (仮)	人文社会科学分野における研究の質と 研究公正性との関係(仮)	2018年度以降 提供予定	未定								
	学問的境界に潜む諸問題(仮)										
人を対象とした研究: 基盤編 (HSR)	生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ	2016年6月	2016年4月								
	研究倫理審査委員会による審査										
	研究における個人に関わる情報の取り扱い	2016年5月									
	人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究	2017年12月	2018年9月								
	研究で生じる集団の被害										
	研究におけるインフォームド・コンセント										
	特別な配慮を要する研究対象者	2016年6月	2016年4月								
	カルテ等の診療記録を用いた研究										
	生命医科学研究者のための社会科学・行動科学										
	国際研究	2016年4月	2018年9月								
	多能性幹細胞研究の倫理 I・II										
	研究倫理審査委員会の委員に就任する際に 知っておくべきこと	2016年6月									
	人を対象とする医学系研究に関する倫理	2018年度 提供予定	2019年度 提供予定								
	人を対象とした研究ダイジェスト (RCR理工系と共有)	2015年4月	2018年9月								

研究の安全性 (BIO)	実験安全の基本	2015年4月	2018年度以降 提供予定							
	化学物質を使った実験									
	放射性物質の取り扱い									
	遺伝子組換え									
	バイオセーフティ コース概略									
	研究室関連感染とバイオハザードのリスク評価	2016年4月								
	米国労働安全衛生局による血液由来病原体対策の現状									
	リスク管理－緊急時および飛散時の対応									
	バイオサンプルの発送と受取									
	バイオテロリズム									
バイオセキュリティ										
実験動物の取り扱い (ACU)	単元1: 動物実験の基礎知識 (RCR理工系と共有)	2015年4月	2017年4月							
	単元2: 動物実験の実施にあたり配慮すべきこと									
GCP / 治験	新薬開発の概要	2016年4月	2018年度以降 提供予定							
	治験のプロセスと法規制									
	治験責任医師・治験分担医師の責務									
	治験薬の管理およびインフォームド・コンセント									
	有害事象の発見と評価									
	重篤有害事象の報告									
	モニタリング、監査および調査									
	ICHの概要およびICH-GCPとGCP省令/FDA規制の相違点									
	医師主導治験									
	医療機器治験									
中等教育向け教育教材 (RSE)	中等教育向け研究倫理教材:基礎編	2018年12月 公開	未定							
	中等教育向け研究倫理教材:応用編	2019年度以降 提供予定								
米国被験者保護局(OHRP)教材	被験者保護局	提供中	なし							
	インフォームド・コンセントのチェック・リスト									
	機密性証明書に関するガイダンス									
	英語を話さない被験者のインフォームド・コンセントの取得と記録									
	継続審査に関するガイダンス									
OPRR報告										
国内IRBの米国OHRPへの 登録手続き案内	日本からの米国保健福祉省(HHS)被験者保護局(OHRP)への施設内倫理審査委員会(IRB)登録の手順	提供中	なし							

AMED国際誌プロジェクト(医学系の国際学術誌の規定等を踏まえ、研究者が国際的な舞台で研究成果を発表する際に必要な知識と倫理を学習する教材を開発)

データの再現性の確保へ向けた行動							
研究材料とデータの外部研究者への提供義務	データシェアリング	2019年4月	未定				
必要とされる研究とデータの質の担保・保管・管理とデータベースの扱い	研究のモニタリング						
	データのモニタリング						
	データの管理						
誤解を生まない画像提示	画像操作の制限						
誤解を生まない統計解析	研究の再現性の適正な表現と信頼性	2018年4月	未定	2018年4月			
	国際誌が求める統計: チェックリストの活用						
	正しいデータの記述の仕方						
	記述統計量とグラフの描き方						
	検定とP値: 統計的エビデンスとは						
	多重性の問題: 研究計画の重要性						
	症例数の設計: 信頼できるエビデンスを得るために症例数は計画時に必ず決めておく						
	検定の選び方: 検定は結論を変え得る! 不適切な検定を故意に選ぶのは不正行為	2019年4月					
	重回帰分析1						
	重回帰分析2						
	重回帰分析3						
重回帰分析4							
重回帰分析5							
無作為化	2018年4月						
データの客観性の確保へ向けた行動							
利益相反	利益相反の開示と管理	2019年4月	未定				
研究対象の保護へ向けた行動							
人権保護	研究対象者の保護	2019年4月	未定				
実験動物愛護	動物を使った研究論文を国際誌に適正に評価されるために						
その他							
研究成果のデュアルユースに向けた配慮	デュアル・ユース: 研究がもたらす影響の多様性	2019年4月	未定				
オーサーシップと出版前発表制限	医学・生命科学系国際学術誌が定める著者の資格・権利・						
	医学・生命科学系国際学術誌が定める著作権と発表制限						

【その他提供教材】

領域	単元名
医療リテラシー	クリニカルコミュニケーション I: 基本となる知識 クリニカルコミュニケーション II: 医療面接手順 診療におけるインフォームド・コンセント 個人情報管理・守秘義務 行動規範 CREDO BEHAVIOR プロフェッショナルリズム教育に向けて 医療訴訟に学ぶ
医療安全	医療過誤の実像 医療安全のための確認作業 インシデント・リポート 針刺し損傷の予防 検体のラベリング 院内感染とその予防
医学部学生用教材	[学部学生用] クリニカルコミュニケーション [学部学生用] インフォームド・コンセント(医療) [学部学生用] 個人情報管理・守秘義務 [学部学生用] 医療安全: 現実と対策 [学部学生用] CREDO BEHAVIOR [学部学生用] 院内感染とその予防